

六中だより

～自主・勤勉・共生～

12月号 No.8
平成29年12月8日発行
港区立六本木中学校
校長 石原 嘉人

六本木中学校の伝統を考える

校長 石原 嘉人

校長室を始めとして各教室の入口には3組の皆さんが作ってくれたクリスマスの飾りが飾られています。もうすぐクリスマス、学校は2学期のまとめの時期に入りました。全学年とも、三者面談がスタートし、3年生は進路選択に向けての最終面談、1・2年生は、2学期のお子様の様子を保護者の方々と共有しています。生徒の成長のために有意義な時間となるよう願っております。

この面談期間を利用して、私は3年生全員と面接練習をしています。3年生は緊張感をもちながらも、一生懸命考え、答えてくれます。この面接練習の目的は、もちろん高校入試における面接試験対策なのですが、私にとっては、3年生一人一人とじっくり話をするのできるチャンスであり、毎年楽しみにしていることの一つです。

今回の面接練習では、「君たちが築いてきた伝統の中で、ぜひ後輩に引き継いでいってもらいたいことは何ですか？」という質問をしています。この回答が、3年生が考える六本木中学校のいいところだからです。

様々な回答がありました。代表的な回答をいくつか紹介します。



☆「先輩・後輩の仲がいいところです。上下関係が崩れるのではなく、メリハリのある仲の良さをこの学校の特色としてほしいです。」

☆「学校行事の盛んなところです。行事を通して一体感や感動を味わってほしいと思います。特に合唱発表会では3年生に河口を歌い続けてほしいです。」

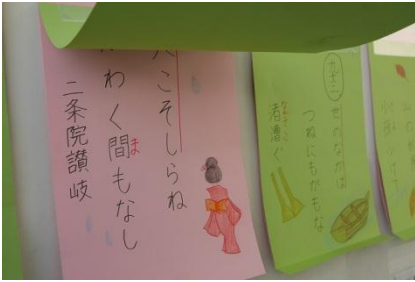
☆「この学校は、たくさんの個性が集まっている学校ですが、差別せずに一人一人の個性を大切にしているところです。色々な人と仲良くなれることはとてもいいところだと思います。」

ほとんどの生徒たちがこのように答えています。六本木中学校の特色をよく表していると感じます。3年生が大切にしたい伝統は私も校長として大切にしていきたいと考えていることですから、これからもこれらの伝統を守り、さらに発展させていくことを3年生と約束しました。

これから年末に差し掛かり、一年を振り返ることが多くなります。振り返ってみて「あれができなかった。これもできなかった」と考えがちですが、ぜひ視点を変えて「これができるようになった」ということを探してみてください。どんなに小さなことでもできるようになったことを積み重ねていくことが成長し続けていく秘訣です。

冬休みは、クリスマス・年末・年始と心がウキウキする時期ですが、冷静に振り返って自分の成長を見つめ直すことをお勧めします。

百人一首大会に向けて



12月4日の全校集会において、平成30年1月13日(土)に行われる百人一首大会について実行委員長から次のような話がありました。

今、校舎内には百人一首が書かれた暗記用の画用紙が貼られています。一枚目の緑色の画用紙には上の句、二枚目のピンク色の画用紙には下の句が書かれています。

線が引いてある部分や、文字の色が変わっている部分は決まり字です。決まり字とは上の句の決まり字が分かれば下の句が分かるという言葉です。百人一首実行委員全員で百首分作りしました。

皆さんもぜひこの画用紙を活用して一枚でも多くとれるようにしましょう。

今年のスローガンは

札が呼ぶ 百の想いを 今ここに
 ~百人一首 上の句で取るか 下の句で取るか~

に決定しました。皆さんご協力ありがとうございます。

<12月行事予定>

1	金		中	17	日	
2	土	オリパラボッチャ教室	PTA定例会	18	月	学年集会
3	日			19	火	安全指導 家庭科保育実習(2-1)
4	月	全校集会	子どもサミット	20	水	校内研修会
5	火	三者面談(始)	家庭科保育実習(2-2)	21	木	避難訓練
6	水			22	金	
7	木			23	土	天皇誕生日
8	金	3年音楽鑑賞教室		24	日	
9	土			25	月	終業式
10	日			26	火	冬季休業日(始)
11	月	朝礼		27	水	
12	火	三者面談(終)		28	木	
13	水		職員会議	29	金	
14	木			30	土	
15	金	2年校外学習	私立高校入試相談日	31	日	
16	土	私立高校入試相談日				

また、今年の一句は

「忘れじの 行く末までは 難ければ
 今日を限りの 命ともがな」

に決まりました。

今年の新ルールとして、「今年の一句」に選ばれた札は二枚分としてカウントします。ぜひ、今年の一句を覚えて、その札をとれるようにしましょう。

今年の一句は素直に自分の気持ちを描いた恋の歌です。ストレートに自分の気持ちを表現した歌だからこそ多くの人に感銘を与えたのではないのでしょうか。

そういえば、百人一首には恋の歌が多いですね。今のように電話もラインもない世界です。当時はこのように和歌で自分の気持ちを伝えていたのです。相手の気持ちを慮って自分の気持ちを限られた字数におさめるゆえ、非常に奥深い歌になっています。

恋の歌は全部で何句あるか数えてみてはいかがでしょう。

今年度の百人一首大会にはケーブルテレビの取材が入ります。

新年の行事にふさわしく、厳粛な中にも清々しい大会になることを期待しています。

